

## 短命県返上 願い込め 弘前商議所が健康宣言



健康宣言を行い、握手を交わす清藤会頭④、下山委員長⑤、中路特任教授

上と自己管理を目指す。健康づくり活動をけん引する「ひろさき健康増進リーダー」の認定を受けた職員2人を中心にした啓発活動や、健康診断の全員受診、がん検診受診の推進、体力増進機会の創出などを図る。

弘前商工会議所(清藤哲夫会頭)は27日、弘前市の同商議所会館で通常議員総会を開き、短命県返上に向けた健康増進への取り組みを含む2018年度事業計画を可決し、総会終了後に健康宣言を行った。今後、会員受診事業所の増加を図る。血圧計の購入補助なども検討している。

健康宣言は、同商議所の会員サービス委員会(下山清司委員長)が主導。会員企業向けのセミナーや研修会を開催するほか、会員健康診断や啓発活動、健康情報の提供などを通して、健康診断受診事業所の増加を図る。血圧計の購入補助なども検討している。

また、商議所事務局内でも、職員の健康意識向上と自己管理を目指す。健康づくり活動をけん引する「ひろさき健康増進リーダー」の認定を受けた職員2人を中心にした啓発活動や、健康診断の全員受診、がん検診受診の推進、体力増進機会の創出などを図る。

清藤会頭が「健康情報発信基地となり、会員企業などの健康経営を推奨する」などと宣言を読み上げた。立会人を務めた弘前大学の中路重之特任教授は「自分も取り組みに協力し、実現可能な提案をしていきたい」と述べた。総会ではこのほか、弘大・弘前学院大との連携協定に基づく事業推進や小規模事業者・中小企業の経営支援などの事業計画案を可決。2017年度各会計補正予算や同収支予算案なども可決した。(三浦康平)